

V シカ等野生動物の保護管理

<主要施策の取組状況>

1 自然植生回復地域（ブナ林等）での密度低減と定着の解消

- ・植生回復目的の管理捕獲および 11 稜線での WLR による捕獲を実施した。全体で 584 頭の捕獲を計画し、524 頭の捕獲実績となった。
- ・捕獲困難地における少人数の巻狩りや猟区での捕獲等の試験的な捕獲を行った。
- ・第一期計画より引き続き、区画法による生息密度調査・糞塊法による生息動向調査、捕獲個体の分析調査等を行い、シカの生息密度等の状況を把握した。
- ・生息環境調査として、56 地点の試験地のうち 11 地点での植生保護柵内外の定点植生調査と、丹沢山全体の主要尾根線を踏査して不嗜好性植物の繁茂状態等から林床植被率や植生劣化度を評価する累積利用圧調査を行い、シカの捕獲が植生へ及ぼす影響について調査を行った。
- ・稜線部等の林床植生衰退地において、土壌保全対策として植生保護柵を主な工種とする土壌保全工の施工を 10.6ha 実施した。（Ⅰブナ林の再生、Ⅳ溪流生態系の再生再掲）

2 生息環境管理地域（人工林・二次林等）での森林整備と連携したシカ保護管理の実施

- ・水源林整備などの森林整備と情報共有を行い、水源林整備地周辺を中心に管理捕獲を実施し、森林整備と連携したシカの管理捕獲を行った（自然植生回復目的の管理捕獲と合わせて、県実施分実績 524 頭）。また、平成 26 年度には管理捕獲の際の利用へ配慮した作業径路の配置や、モノレールの配置を行った。（Ⅱ人工林の再生再掲）
- ・森林整備等がシカの行動に与える影響を明らかにするため、平成 24 年度、平成 25 年度に GPS を装着した 6 個体を対象に行動追跡と生息環境の利用特性の調査を行った。昨年度までに確認された定住型、分散型、往復移動型、季節移動型の 4 つのパターンに加えて、管理捕獲を実施したタイミングで一時的に大きく移動し、短期間で元の行動域に戻る行動が確認された。また、冬季の休息時には高木層の被度が高い場所を多く利用し、採食時には季節に関わらず低木層や草本層の被度が高い場所を多く利用する傾向が見られた。
- ・平成 24 年度から水源林整備地においてシカの管理捕獲を開始したことから、施業効果・捕獲効果を実証するために水源林内の 12 箇所 44 地点の調査地で植生調査・自動撮影カメラによる調査を行った。捕獲を開始して間もないため、植生に顕著な変化は見られなかった。

3 被害防除対策地域（山ろく・集落等）でのシカの計画的捕獲と被害対策

- ・市町村等が行う鳥獣被害対策（捕獲、防護柵設置等）へ財政的な支援を行うとともに、丹沢山地を含む各地域（湘南、県央、県西）県政総合センターに鳥獣被害防除対策専門員を計 5 名配置し鳥獣の生態や被害対策等についての情報提供や住民等への指導をおこなった。さらに、県の環境部門と農政部門からなる鳥獣被害対策支援チームの活動を推進し地域自らが継続的・計画的な被害対策を推進する仕組み作りを支援した。（Ⅲ地域の再生再掲）

- ・市町村等が実施した被害軽減目的の管理捕獲によりシカ 798 頭が捕獲され、狩猟によりシカ 711 頭が捕獲された。

4 野生動物の保護管理

- ・ワイルドライフレンジャーを 5 名、うち 1 名を統括者（チーフ・ワイルドライフレンジャー）として配置し、稜線部等の 23 の管理ユニットでシカ捕獲を実施した（188 頭：県実施管理捕獲数の内数）。
- ・ニホンジカ、ニホンザルについて生息状況調査などのモニタリング調査を実施し、野生動物保護管理検討の材料とした。
- ・ニホンジカ保護管理検討委員会において、ニホンジカの調査、モニタリング、管理手法について、科学的な視点での検討を行った。
- ・ツキノワグマの学習放獣及びGPS装着放獣個体の行動追跡調査を行い、ツキノワグマの保護管理について検討が進んだ。（VI希少種の保全再掲）

○ニホンジカ捕獲実施状況（平成 26 年度）

単位：頭、（）内はメスの内数

自然植生回復目的 管理捕獲（森林整備地込み）	農林業被害軽減目的 管理捕獲	狩猟	合計
524(293)	798(472)	711(335)	2,033(1,100)

○ニホンジカモニタリング実施状況（平成 26 年度）

生息状況	生息環境
<ul style="list-style-type: none"> ・区画法による生息密度調査 ・糞粒法による生息動向調査 ・GPS 首輪を用いた行動域調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・糞塊法による生息動向調査 ・捕獲効率の算出による調査 ・植生定点調査 ・累積利用圧調査

ワイルドライフレンジャーによる管理捕獲の様子



行動追跡調査のため GPS を装着したシカの個体



行動追跡調査のため GPS を装着したツキノワグマの個体



○シカ等野生動物の保護管理に関する事業実施場所（位置情報のある事業のみ掲載）

